

*inteman* 36



STEREO CONTROL CENTER CL36 ——— LUX CORPORATION



# Stereo Control Amplifier

# CL36

## 管球式ステレオ・コントロールアンプ CL36

¥228,000

■使用真空管/12AX7/ECC83(7), 12AU7/ECC82(4) ■出力電圧/pre. out; 定格2V, 最大20V(歪率0.1%以下) ■出力インピーダンス/pre. out; 600Ω, rec. out; 600Ω ■全高調波歪率/phono-1・2; 0.03%以下(rec. out; 2V, 20~20kHz), tuner; 0.03%以下(pre. out; 2V, 20~20kHz), aux-1・2; 0.03%以下(pre. out; 2V, 20~20kHz), monitor-1・2; 0.03%以下(pre. out; 2V, 20~20kHz) ■周波数特性/phono-1・2; 20Hz~20,000Hz(±0.2dB以内), tuner; 10Hz~50,000Hz(-1dB以内), aux-1・2; 10Hz~50,000Hz(-1dB以内), monitor-1・2; 10Hz~50,000Hz(-1dB以内) ■入力感度(出力1V)/phono-1; 2.6mV, phono-2; 2.6mV(MC型昇圧トランス用ソケット付), tuner; 170mV(入力レベルセット付), aux-1・2; 170mV, monitor-1・2; 170mV ■入力インピーダンス/phono-1; 33kΩ・50kΩ・100kΩ(切替スイッチ付), phono-2; 50kΩ, tuner; 50kΩ, aux-1・2; 100kΩ, monitor-1・2; 100kΩ ■SN比/phono-1・2; 80dB以上(IHF-A補正, 入力ショート), tuner; 95dB以上(IHF-A補正, 入力ショート), aux

-1・2; 95dB以上(IHF-A補正, 入力ショート), monitor-1・2; 95dB以上(IHF-A補正, 入力ショート) ■最大許容入力/phono; 350mV以上(1kHz, RMS) ■チャンネルセパレーション/60dB以上(phono), 65dB以上(aux.) ■トーンコントロール/LUX方式NF型湾曲点周波数切替付(defeat可能), 低域湾曲点; 150Hz, 300Hz, 600Hz, 高域湾曲点; 1.5kHz, 3kHz, 6kHz ■付属装置/アコースティック・イコライザー(frequency; 75Hz~150Hz, attenuation; 0dB~-12dB), ローパス・スイッチ(50Hz, off, 100Hz) ローカット・フィルター(10Hz, off, 30Hz), ハイカット・フィルター(12kHz, off, 18kHz), モニター・スイッチ(tape-1, source, tape-2), テープダビング・スイッチ(1to2, source, 2to1), レコーディング・スイッチ, アッテネーター(-20dB), PHONO-1用入力インピーダンス切替スイッチ, MC型昇圧トランス用ソケット(PHONO-2), TUNER用入力レベルセット ■電源電圧/AC100V(50Hz/60Hz) ■消費電力/75W(電気用品取締法の規定による) ■外形寸法/440(幅)×278(奥行)×162(高)mm ■重量/12.0kg

管球式コントロール・アンプCL36は、球党はもちろんのこと、それ以外の人にもお褒めしたい、新しいオーディオ時代にふさわしい製品です。CL35の改訂版という見方をすれば、“CL35MKIV”ということになりますが、デザイン的にはともかく、音質を含む性能面をはじめ、機構面にも、機能面にも、いわゆる手直し以上の大幅な修整が施されていますので、新しい品番を与えることにしたわけです。

回路的には、あらゆる面から検討を加え、すばらしい諸特性を実現しています。アンプの主信号経路となるイコライザー回路とフラットアンプ回路には、いずれも基本的には同じK-K・NF方式を採用し、全帯域にわたる歪率特性、高SN比、高耐入力特性などの大幅な改善と後段の負荷条件に左右されない高い安定性を得ています。また、トーンコントロール回路には2段K-G・NF方式を採用していますが、これは、従来から使われている1段構成のBAX型トーンコントロールの壁を破るもので、低歪率化と素直な変化特性を両立させることのできる理想的な方式です。さらに、フィルター回路にはアクティブな素子を使わず急峻なカットオフ特性が得られるように、低域用にツイント型+CR1段型、高域用にLC型を採用しています。

機構的には、信号経路の単純化、入力回路の最短距離化、プリント基板化を積極的に採り入れて、広帯域にわたる素直な周波数特性、高SN比と長期にわたり経年変化のない高い安定性を確保しています。もちろん、ボリュームやコンデンサーなど、使用パーツ類には最新型の、もっともすぐれたものを厳選しています。機能的には、できるかぎり広範囲な操作機能を盛り込みながらも、音質劣化の原因となるものは排除する、という方針を貫き通しています。当然のことながら、使い勝手も考慮に入れた設計としています。



写真は別売の木箱(W-38/36 ¥15,000)を装着した例です。

